

2016年4月5日

## おにぎりの包材・パッケージを一新！ 環境に優しい「ライスインキ」を使用

～パッケージ本体の印刷を石油由来から米ぬか油由来に変更～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都、代表取締役社長最高執行責任者〈COO〉井阪 隆一）は、4月12日（火）より、セブン-イレブン店舗にて販売している「おにぎり」のパッケージを一新いたします。パッケージの印刷には、おにぎりのパッケージの供給元である朋和産業株式会社（代表取締役小澤 善孝）が提供する環境に優しい「ライスインキ」の技術を使用いたしました。

「ライスインキ」は、米ぬかから抽出する米ぬか油の非食用部分を原料としており、従来の石油を原料としたインキと比較し、年間約60トンのCO2排出量を削減するなど環境負荷の低減が期待できます。また、原料となる米ぬか油には国産の米ぬかを使用しており、パッケージにおける地産地消の取組みにもつながっています。

セブン-イレブンは今後も環境に配慮した商品の開発、販売を通じた環境への取組みを積極的に推進してまいります。

### 《新パッケージ一例》



#### ◆ライスインキとは？

○樹脂を石油系から米ぬか由来などの植物由来品に置き換えたインキで、インキ塗膜中の約5割にあたる（図1）。

○精米所にて、商品の原材料となる米を精米する際に生じる米ぬかからライスインキを作り、パッケージに使用する（図2）。

図1

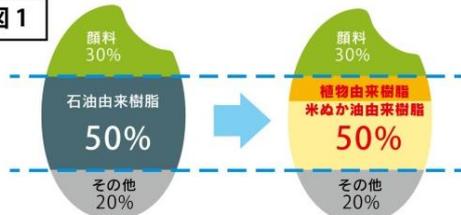


図2

